

第7章 街づくり

◆施策体系

誰もが安全で快適に暮らせる自然と調和した街づくりを進めます	1 土地利用
	1 計画的かつ合理的な土地利用の推進
	2 所沢らしい景観まちづくりの推進
	3 基地返還と跡地利用の促進
	2 市街地整備
	1 所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進
	2 安心・安全に暮らせる街づくりの推進
	3 市街地整備の適正な誘導
	3 道路
	1 道路計画の推進
	2 幹線道路の建設推進
	3 生活道路の整備推進
	4 歩行者・自転車環境の整備推進
	5 道路環境の整備
	4 交通
	1 交通政策の推進
	2 安全で快適な交通環境の整備
	3 鉄道・バスなどの公共輸送の充実
	5 上水道
	1 水資源の確保と有効利用
	2 安全な水の安定供給
6 下水道	
1 下水道事業経営の効率化	
2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全	
3 災害に強い下水道整備の推進	
7 住宅・住環境	
1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備を推進	
2 適正な公営住宅の管理・運営	
3 住生活の安定と質の向上	

第1節 土地利用

～ 魅力あるまちとして、人が集うまち ～

7-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進

(千円)

最優先	土地利用転換推進事業	都市計画課	新規	H29	55,877
			期間: H29～	H30	120,000
	概要 市域を総合的に捉え、都市機能の無秩序な拡散防止と自然環境との共生に配慮しながら地域の活性化を図るため、計画的かつ適正な土地利用転換を目指すものである。		H31	390,000	
			H32	900,000	
優先	所沢市街づくり基本方針改定事業	都市計画課	新規	H29	17,172
			期間: H29～H31	H30	22,194
	概要 第6次所沢市総合計画を策定することから、将来道路体系の見直し、立地適正化計画について策定の必要性を検証するとともに、現在の社会経済情勢を勘案し、現行方針の全面改定を行うものである。		H31	6,690	
			H32	5,000	
	街づくり支援事業	都市計画課	既存	H29	110
			期間: H17～	H30	110
概要 「所沢市街づくり条例」に基づく協議会に対して、市民主体による地域の街づくりを進めるための支援の一環として、「所沢市街づくりアドバイザーの派遣等に関する要綱」に基づき、市主催の街づくり講座の開催や街づくりアドバイザーの派遣を行う。		H31	110		
		H32	110		

7-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進

(千円)

優先	景観まちづくり支援事業	都市計画課	重点	指標	既存	H29	1,173
			期間: H23～	H30	1,291		
	概要 良好な景観形成の実現に向けた「所沢市ひと・まち・みどりの景観計画」を推進するため、景観まちづくりの取組みとして、とことこガーデン推進事業、とことこ景観賞表彰事業を行うとともに、主体的に取り組むを行う景観市民活動クラブに補助金等の支援を行う。		H31	1,173			
			H32	1,291			

7-1-3 基地返還と跡地利用の促進

(千円)

最優先	東西連絡道路整備事業	企画総務課 (基地対策室)	指標	既存	H29	541,806
			期間: H26～H31	H30	670,027	
	概要 日米合同委員会にて合意された東西連絡道路用地返還に係る条件を満たすため、市及び国で取り決めたそれぞれの負担区分により、基地内施設の新築・撤去及び東西連絡道路を敷設する。市の負担区分は倉庫・防火水槽等の建築や基地内道路の整備、既存倉庫等の撤去である。		H31	516,678		
			H32			

◆◆◆計画期間における目標指標

都市景観や街並みの満足度		都市計画課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	66.9		現状値以上			
単位: %		実績値	58.6	63.8		

【説明】 都市景観や街並みの施策に対する市民満足度を測る指標です。現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたは、所沢市の景観や街並みに満足していますか」に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。

東西連絡道路の整備		企画総務課(基地対策室)				
現状	H26	目標値	H27	H28	H29	H30
	調査		設計	工事	工事	工事
単位: -		実績値	設計	工事		

【説明】 米軍所沢通信基地の東西連絡道路用地一部返還に係る返還条件工事及び東西連絡道路工事の進捗状況を示す指標です。上記の「現状」は、平成26年度の整備過程を表しています。目標は、平成28年度に工事着工し、計画的に整備を進めるものです。

第2節 市街地整備

～ 地域の特性を活かした安全で活力ある街 ～

7-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進

(千円)

最優先	所沢駅西口地区まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所	指標	既存	H29	387,732
			期間: H13～		H30	3,205,943
	概要	所沢駅西口土地区画整理事業と連動して、地区内における市街地再開発事業を推進する。また、駅周辺の回遊性を高めるため歩行者動線の整備・検討を進めるとともに、地域間の移動の利便性を図るため、都市計画道路所沢駅ふれあい通り線の整備を推進する。			H31	4,887,535
					H32	1,318,159
	所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所	指標	既存	H29	1,050,000
			期間: H28～H37		H30	1,742,800
	概要	西武鉄道車両工場跡地を含む所沢駅西口地区については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行により、都市基盤の整備並びに計画的な土地利用を誘導する街づくりを行う。			H31	1,218,400
					H32	638,900
	日東地区まちづくり事業	市街地整備課	指標	既存	H29	995,493
			期間: H17～		H30	463,004
	概要	日東地区は、所沢駅近接の商業地という地区の特性を踏まえ、民間活力により都市基盤の整備と街区の再編を一体的に図る事業を支援・誘導するとともに、安全で快適な都市環境への改善並びに計画的な土地利用を誘導する街づくりを進めるものである。			H31	1,083,215
					H32	1,040,099
ファルマン通り交差点改良事業	市街地整備課		既存	H29	108	
		期間: H26～H33		H30	187,706	
概要	中心市街地の活性化と安全性の高い街づくりを進めていくため、現在事業化を進める所沢東町地区第一種市街地再開発事業で整備する都市計画道路中央通り線(県道久米所沢線)の整備時期に合わせて、ファルマン通り交差点の交通処理能力と安全性の向上を図る。			H31	183,602	
				H32	86,402	

重要	旧市役所庁舎跡地等活用事業	経営企画課	重点	指標	既存	H29	0
	所沢駅周辺まちづくり推進調整事業	市街地整備課			既存	H29	0

7-2-2 安心・安全に暮らせる街づくりの推進

(千円)

最優先	北秋津・上安松地区まちづくり事業	市街地整備課			既存	H29	96,127
			期間: S59～H38		H30	200,237	
	概要	所沢駅近接地区にふさわしい街づくりを目指し、立地環境や関係者の意向を踏まえながら、土地区画整理事業を基本に道路、公園、下水道等の都市基盤を総合的に整備し、防災面や住環境の向上を図り、安心・安全に生活できる街づくりを行うものである。			H31	199,237	
					H32	610,237	
優先	狭山ヶ丘土地区画整理事業	狭山ヶ丘区画整理事務所			既存	H29	293,000
			期間: S62～H33		H30	399,156	
	概要	住環境の改善を図るため、道路、公園施設等の公共施設を計画的に整備し、良好な住宅地を供給するとともに、災害に強い街づくりの形成を図ることを目的として、施行面積29.7haにおいて土地区画整理事業を実施する。			H31	266,405	
					H32	235,595	

7-2-3 市街地整備の適正な誘導

(千円)

重要	地区計画推進事業	都市計画課			既存	H29	0
----	----------	-------	--	--	----	-----	---

◆◆◆計画期間における目標指標

所沢駅の1日平均乗降客数 市街地整備課・所沢駅西口区画整理事務所

H25		H27	H28	H29	H30
現状値	96,485	→			100,000
単位: 人	実績値	97,662	未確定		

【説明】本市の表玄関となる所沢駅の利用状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の1日における平均乗降客数です。
 目標値は、平成30年度までに100,000人をめざすものです。

地区計画・建築協定の策定地区数 都市計画課・建築指導課

H25		H27	H28	H29	H30
現状値	33	→			36
単位: 地区	実績値	34	37		

【説明】市街地整備の取り組み状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の地区計画・建築協定の地区数です。 ※所沢市街づくり条例による「街づくり協定」の地区数を含む
 目標値は、平成30年度までに36地区をめざすものです。



第3節 道路

～ 人と環境に優しく、誰もが安全・快適に道路を利用できるまち ～

7-3-1 道路計画の推進

(千円)

最優先	北野下富線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	H29	310,260
			期間: H6～		H30	1,035,956
	概要	中心市街地の交通渋滞の緩和を図るため、本市の外環状道路に位置付けた、国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線までの延長5,500mの道路である。これまで延長3,550mが開通し、早期の全線開通に向けて建設を進めている。			H31	600,000
					H32	420,000
	松葉道北岩岡線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	H29	544,847
期間: H16～H30			H30	157,523		
概要	新所沢跨道橋通りから狭山市境の主要地方道所沢狭山線を結ぶ延長2,860mの道路で、計画的な整備により、交通の利便性の向上と交通渋滞の緩和、安全の確保を図る。これまで延長680mが開通済みで、現在は延長736mの整備区間の建設を進めている。			H31		
				H32		

重要	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	計画道路整備課		既存	H29	0
	所沢村山線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	H29	6,480
	和田本郷線道路築造事業	計画道路整備課		既存	H29	0

7-3-2 幹線道路の建設推進

(千円)

重要	(県) 東京狭山線道路建設促進事業	計画道路整備課		既存	H29	0
	(県) 飯能所沢線道路建設促進事業	計画道路整備課	指標	既存	H29	70,770

7-3-3 生活道路の整備推進

(千円)

最優先	COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業	道路建設課		新規	H29	68,918
			期間: H29～H32		H30	未定
	概要	「(仮称)ところざわサクラタウン」を拠点施設とする、半径約500m圏内を重点推進エリアとして位置付けられた「COOL JAPAN FOREST」及びその周辺の交通環境整備を行い、交通の円滑化を図るものである。			H31	未定
					H32	未定
	市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)整備事業	道路建設課	指標	既存	H29	40,000
期間: H21～H30			H30	160,000		
概要	三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため新設道路を整備するもので、本路線については、第1工区約740mのうち、入間市境から浅間山通りへ至る所沢市分約460mを整備するものである。			H31		
				H32		

重要	道路改良事業	道路建設課	指標	既存	H29	197,910
----	--------	-------	----	----	-----	---------

7-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進

(千円)

最優先	県道久米所沢線歩道整備事業	計画道路整備課		既存	H29	101,728
			期間: H26～H30		H30	0
	概要	一般県道久米所沢線の東住吉交差点から北へ向かい、市道1-579号線先までの延長140mの区間について、歩行者の安全を確保するため、歩道整備に係る用地を取得するものである。			H31	
					H32	

重要	新所沢駅西口駅前広場改修事業	計画道路整備課		既存	H29	0
----	----------------	---------	--	----	-----	---

7-3-5 道路環境の整備

(千円)

最優先	防犯灯LED化整備事業	建設総務課		新規	H29	2,087
			期間: H29～H39		H30	25,041
	概要	「まちごとエコタウン所沢構想」に掲げる省エネルギー推進の実現と、電気料金等の維持管理費用の削減を図るため、自治会・町内会等が維持管理している防犯灯を一括してLED灯へ交換する。			H31	25,041
					H32	25,041
	松戸橋歩道設置事業	道路建設課		新規	H29	3,500
期間: H29～H31			H30	10,500		
概要	大字上安松地内の柳瀬川に架かる松戸橋における、歩行者の安全確保と利便性の向上を図るため、既存の橋に隣接する歩道を設置するものである。			H31	30,000	
				H32		

最優先	清流苑第二の橋築造事業	道路建設課	既存	H29	57,000	
			期間:H26~H31	H30	63,000	
	概要	所沢市側への接続通路が、現在、新柳瀬橋しかない下安松の清流苑地区での、災害時における避難路等の確保のため、新たに「第二の橋」として築造整備するものである。			H31	135,000
					H32	

優先	案内標識修繕事業	道路維持課	新規	H29	2,430	
			期間:H29~	H30	3,000	
	概要	道路施設の急速な老朽化を踏まえて、予防保全の観点から道路法の改正により道路管理者の責任における点検を義務づけた。これにより国が具体的な基準を定めたことを受け、案内標識について点検及び診断を行い、修繕を検討する。また点検記録台帳を整備する。			H31	
					H32	
	防犯灯補助事業	建設総務課	既存	H29	36,100	
			期間:S53~	H30	22,980	
	概要	夜間道路上における市民の犯罪被害の防止を図ることを目的に、自治会・町内会等が設置し、維持管理する防犯灯について、新設費(交換を含む)及び維持管理費に対し、補助金を交付する。			H31	23,160
					H32	23,340
	橋りょう長寿命化修繕事業	道路維持課	既存	H29	49,400	
			期間:H26~	H30	124,000	
概要	全ての市管理の橋りょうについて、計画的な点検、診断、修繕、記録のサイクルを構築するとともに、維持管理費の縮減及び財政負担平準化を図る。平成29年度は武蔵野線を跨ぐ3橋の点検と診断、松戸橋修繕の詳細設計及び所沢陸橋の耐震補強工事を行う。			H31	116,000	
				H32	36,000	

重要	道水路座標管理図面作成事業	建設総務課	既存	H29	2,920
	道水路境界確定事業	建設総務課	既存	H29	2,962
	道路照明灯維持管理事業	建設総務課	既存	H29	135,552
	街路樹管理事業	道路維持課	既存	H29	101,000
	道路施設維持管理事業	道路維持課	既存	H29	609,688
	放置車両処分事業	道路維持課	既存	H29	52
	路上違反広告物除却事業	道路維持課	既存	H29	1,341

◆◆◆計画期間における目標指標

都市計画道路の整備状況		計画道路整備課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	69	→			71
単位:%	実績値	70	70		

【説明】 都市計画道路の整備状況を示す指標です。
現状値は、市内39路線88,540mの延長に対しての、平成25年度の進捗率です。
目標値は、平成30年度までに71%をめざすものです。

幹線道路を利用した車での平均移動時間		計画道路整備課			
	H26	H27	H28	H29	H30
現状値	18	→			17
単位:分	実績値	18	18		

【説明】 車での移動時間の短縮から道路整備の取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成26年度における所沢市役所から幹線道路を利用した東西南北のまちづくりセンター(柳瀬・三ヶ島・吾妻・富岡)までの平均移動時間です。
目標値は、平成30年度までに17分をめざすものです。

規格改良済車道延長		建設総務課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	528	→			538
単位:km	実績値	534	未確定		

【説明】 道路整備の取り組み状況を示す指標です。
現状値は、専用自転車歩行者道を除いた市道のうち、平成25年度までに舗装され、両側に側溝が整備されているなどの改良済みの道路延長距離です。
目標値は、平成30年度までに538kmをめざすものです。

第4節 交通

～ 多様な交通手段を用いて、誰もが安心・安全に移動できるまち ～

7-4-1 交通政策の推進

(千円)

優先	地域公共交通検討事業	企画総務課 (交通政策室)		既存	H29	790
			期間: H26～		H30	790
	概要	本市における市内各地域の交通弱者等に対する円滑な交通手段の確保及び利便性を向上させるための対策について検討するものである。			H31	790
					H32	790

7-4-2 安全で快適な交通環境の整備

(千円)

最優先	西所沢駅西口開設推進事業	交通安全課		既存	H29	808
			期間: H17～H30		H30	355,000
	概要	平成17年に改札口開設に関する請願が提出され、市議会で採択されたことを受け、関係機関等との協議を進めてきた。平成29年度は、平成27年度に策定した『西所沢駅西口開設整備計画』に基づき、関係用地の取得等を行う。			H31	
					H32	

重要	交通バリアフリー推進事業	交通安全課		既存	H29	8,380
----	--------------	-------	--	----	-----	-------

7-4-3 鉄道・バスなどの公共輸送の充実

(千円)

優先	市内循環バス(ところバス)運行事業	交通安全課		指標	既存	H29	136,925
			期間: H10～			H30	131,259
	概要	平成10年度より公共施設の利便性向上、市内の交通不便地域の解消及び高齢者・障害者等の交通弱者対策を図ることを目的として運行している。平成29年度は、今後の運行の見直しに向けた検討作業を行う。			H31	131,259	
					H32	145,499	

重要	都市高速鉄道12号線導入促進事業	企画総務課 (交通政策室)		既存	H29	37
----	------------------	------------------	--	----	-----	----

◆◆◆計画期間における目標指標

「ところバス」利用者数		交通安全課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	353,217	363,000	368,000	373,000	378,000
単位: 人		実績値	391,099	未確定	

【説明】 公共輸送の充実に対する取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の「ところバス」利用者数です。
目標値は、毎年度5,000人の増加をめざすものです。

ノンステップバスの導入率		交通安全課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	78.2	79.5	79.5	79.5	80.8
単位: %		実績値	83.1	未確定	

【説明】 公共輸送の充実に対する取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度のノンステップバスの導入率です。
目標値は、平成30年度までに80.8%をめざすものです。

第5節 上水道

～ 災害に強く、安全で良質な水が安定して供給されるまち ～

○複数の基本方針にまたがる事業

(千円)

最優先	旧水道庁舎用地利活用事業	経営課		新規	H29	74,727
			期間：H29～		H30	96,519
	概要	量水器等の倉庫や駐車場・駐輪場として利用している旧水道庁舎について、更地化して敷地を普通財産として貸付けることにより、経済的活用を図る。			H31	未定
					H32	未定

7-5-1 水資源の確保と有効利用

(千円)

優先	取水施設保全事業	給水管理課		指標	既存	H29	8,964
			期間：H5～		H30	11,706	
	概要	渇水時や災害時などの水源としても活用できるよう、取水井の清掃及び機能診断を行い、地下水の揚水量を確保していくものである。			H31	11,846	
					H32	11,988	

7-5-2 安全な水の安定供給

(千円)

最優先	水道通水80周年記念事業	経営課		新規	H29	1,684		
			期間：H29		H30			
	概要	平成29年度に本市の水道通水が80周年を迎えるに当たり、安全で安心な所沢市の水道の役割と成果をPRするため、水道事業DVDの作成や浄水場等の水道施設見学等を実施し、より多くの市民に対し水道事業への理解を深めていく契機とするものである。			H31			
					H32			
	水道施設適正規模調査事業	給水管理課		新規	H29	8,230		
			期間：H29		H30			
	概要	今後、水需要の減少が予測される中、将来にわたり効率的な水運用を継続するため、水需要の推移や災害時対応の観点を踏まえ、配水池や取水井戸など水道施設の適正規模に係る調査及び分析業務を、委託により実施するものである。			H31			
					H32			
	浄水場整備事業(耐震補強事業)	給水管理課		指標	既存	H29	98,216	
			期間：H21～		H30	378,506		
			概要	本事業は、浄水場の配水池等について耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合については、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築するものである。			H31	333,044
							H32	779,585

優先	口座振替新規加入促進キャンペーン事業	窓口サービス課		新規	H29	146
			期間：H29～		H30	146
	概要	中長期的な水道料金等の収納費用削減を目的として、口座振替の新規加入者を対象とした景品抽選及び啓発チラシ・申込書等の配布を実施する。			H31	未定
					H32	未定
	導・送・配水管整備事業	水道建設課		既存	H29	3,389,981
			期間：H23～H32		H30	3,413,182
概要	老朽化した水道管(導水管・送水管・配水管)について、耐久性、耐震性をもつ水道管であるダクタイル鋳鉄管への更新を行うものである。			H31	3,428,421	
				H32	3,469,446	

重要	水道管維持管理事業	給水管理課		既存	H29	161,640
----	-----------	-------	--	----	-----	---------

◆◆◆計画期間における目標指標

自己水源(取水井)の点検実施率

給水管理課

		H25	給水管理課			
			H27	H28	H29	H30
現状値	目標値	30	50	60	70	80
	実績値	50	60	/		
単位:%						



【説明】 渇水時や災害時を含め、水を安定供給するための自己水源の確保・保全に対する取り組み状況を示す指標です。現状値は、平成25年度までに通常の維持管理に加え、井戸内部の点検等を実施し、機能保持を確認した井戸の割合です。目標値は、平成30年度までに80%をめざすものです。

配水池の耐震化率

給水管理課

		H25	給水管理課			
			H27	H28	H29	H30
現状値	目標値	25.0	46.7	57.6	60.9	71.7
	実績値	46.7	68.5	/		
単位:%						



【説明】 水を安定供給するための配水池耐震対策に対する取り組み状況を示す指標です。現状値は、平成25年度までに耐震対策が完了している配水池容量の割合です。目標値は、平成30年度までに71.7%をめざすものです。



東部浄水場4号配水池耐震補強工事

第6節 下水道

～ 災害に強く、生活環境の改善や水環境の保全に寄与する下水道が整備されたまち ～

7-6-1 下水道事業経営の効率化

(千円)

最優先	下水道管理事務所移転事業	下水道維持課		新規	H29	7,436
			期間: H29～		H30	未定
	概要	現事務所用地と市の中心部にある未利用の市有地を交換し、新たな事務所を設置することにより、業務の機動性の向上を図るものである。			H31	未定
					H32	未定

7-6-2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全

(千円)

最優先	下水道管渠布設事業	下水道整備課		指標	既存	H29	1,955,924
			期間: S32～		H30	2,106,800	
	概要	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、市街化調整区域の下水道整備事業を進めるものである。			H31	968,200	
					H32	1,273,400	

優先	清掃施設周辺整備事業	資源循環推進課		既存	H29	88,001
			期間: H10～		H30	88,001
	概要	東西クリーンセンターの建設に伴い、これらの廃棄物処理施設の必要性を理解し、建設等にご協力いただいた地域について、生活環境の向上等を図るため、都市基盤の整備を進めているところであり、その一環として、下水道整備等を実施する。			H31	88,001
					H32	88,001

7-6-3 災害に強い下水道整備の推進

(千円)

優先	下水道地震対策事業	下水道整備課		指標	既存	H29	42,930
			期間: H21～		H30	162,440	
	概要	緊急輸送道路などに埋設されている下水道管の耐震化を図る「防災」と、被害の最小化を図る「減災」を組み合わせ、災害に強いライフラインの構築を進めるものである。			H31	949,740	
					H32	554,740	
	下水道長寿命化対策事業	下水道維持課		既存	H29	27,000	
			期間: H29～		H30	41,100	
概要	早期に下水道を整備した区域の管渠が老朽化しているため、予防保全的な管理により緊急度判定を行い、事故予防・サービスの低下を防止するため改築を実施し、耐用年数の延伸を図るものである。			H31	47,100		
				H32	56,500		

重要	下水道維持管理事業	下水道維持課		既存	H29	2,290,429
	都市下水路維持管理事業	下水道維持課		既存	H29	58,292

◆◇◆計画期間における目標指標

下水道普及率		下水道整備課				
	H25	H27	H28	H29	H30	
現状値	92.9	93.3	93.5	93.8	94.0	→
目標値						
実績値		93.0	未確定			
	単位: %					

【説明】 下水道普及の取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の本市の人口に対して公共下水道を使用できる人口の割合です。
目標値は、平成30年度までに94.0%をめざすものです。

マンホールの耐震化率		下水道整備課				
	H25	H27	H28	H29	H30	
現状値	13.7	51.0	74.5	100	100	→
目標値						
実績値		45.1	62.7			
	単位: %					

【説明】 「下水道総合地震対策計画」の緊急対策対象路線内で耐震化が必要なマンホール(51箇所)の改修状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度までにマンホールの耐震化が完了している割合です。
目標値は、平成29年度までに100%をめざすものです。

第7節 住宅・住環境

～ 誰もがいつまでも安心して住み続けられるまち ～

7-7-1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進

(千円)

優先	我が家の耐震診断・耐震改修事業	建築指導課	既存	H29	5,000
			期間: H29～H32	H30	5,000
	概要	平成28年度に策定した「改定所沢市建築物耐震改修促進計画」に基づき、市民が安全で安心できる災害に強い住環境の整備を促進しており、市内の住宅等の耐震化を図るため、民間建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部を補助するものである。		H31	5,000
				H32	5,000

7-7-2 適正な公営住宅の管理・運営

(千円)

最優先	市営住宅施設整備事業		市街地整備課	新規	H29	22,022
				期間: H26～	H30	22,022
	概要	所沢市公共建築物修繕計画に基づき、経年劣化による外壁改修が必要な市営住宅松郷団地について改修工事を実施し長寿命化を図るものである。		H31	55,000	
				H32	40,000	

優先	市営住宅運営事業	市街地整備課	既存	H29	189,071
			期間: S27～	H30	187,638
	概要	住宅に困窮する低所得者に良好な居住環境と低廉な家賃の住宅を提供するため、市営住宅の借り上げ事業等を行うとともに、市営住宅の適正かつ効率的な運営を図るため、市営住宅の管理代行委託を行うものである。		H31	187,638
				H32	187,638

7-7-3 住生活の安定と質の向上

◆◆◆計画期間における目標指標

居住環境の満足度		経営企画課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	66	目標値 現状値以上			
単位: %		実績値	62.2	66.3	

【説明】住環境に関する取り組みの成果を測る指標です。
現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたは、お住まいの地域の街並みなどの周辺環境、住宅の広さや採光・通風などの住環境に満足していますか」に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。

長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数		建築指導課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	220	660	880	1,100	1,320
単位: 件		実績値	682	未確定	

【説明】環境に配慮した住宅施策の成果を測る指標です。
現状値は、平成25年度の長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数です。
目標値は、毎年度、220件の増加をめざすものです。

